

# 大道芸アジア月報 2021 年 3 月

vol. 32、no. 3

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

## ■大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaivukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>

■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 [www.studioeggs.com](http://www.studioeggs.com)

■東京都へブンアーティスト [www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/](http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/)

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※現在、緊急事態宣言により、多くの会場が活動を自粛しています。それぞれ確認してください。

## ★今月の大道芸公演

※新型コロナウイルス緊急事態宣言により、多くの催しや公演が中止・延期になっています。HPなどでご確認ください。

△演芸資料展「見世物の近代」 <https://www.ntj.jac.go.jp/engei/event/808.html> ○国立演芸場展示室

●12月1（火）～3月21（日）10：00～17：00

入場無料

△企画展示「見世物の精華」 <https://www.ntj.jac.go.jp/tradition/event/1080.html> ○国立劇場・伝統芸能情報館

●2月6（土）～5月26（水）10：00～18：00

入場無料

※図録『国立劇場所蔵見世物資料図録』（解題・川添裕、樋口保美。¥2700）

△チカ☆パ THE FUNAL <https://chika2spot.jimdofree.com/the-final/> ○チ・カ・ホ北三条交差点広場

●3月14（日）9：00 ごろ～

双子パフォーマーPluto、パフォーマー刹那、Entertainer MIKIYA、アッキー、福井陽翔人、ヴァイオリニスト斉藤航、大道芸人 千里、パフォーマーKEITA、performer rui、大道芸人 SATOYA

△第14回うつのみや大道芸フェスティバル <https://www.utsunomiyadaidoge.com/> ○宇都宮市・オリオンスクエアかいわい

●3月20（土）21（日）【延期】⇒7月31（土）-8月1（日）

△たじまアートキャラバン城崎 meets 大道芸 [https://ebarariverside.com/play/play\\_1439/](https://ebarariverside.com/play/play_1439/) ○城崎温泉街・各所

●3月19（土）20（日）

雪竹太郎、EPPAI、Street Entertainer RYU、うつしおみ、知念大地

△第13回高円寺びっくり大道芸 2021 <https://www.koenji-daidoge.com/2020/> ○高円寺駅周辺

●4月24（土）25（日）

若林正の

## 食って極楽

### 体に毒かな？・飯田橋の肉そば

高校時代、学校の前に立ち食いソバ屋があり、生徒教員は「毒そば」と呼んでいた。何故毒なのかは諸説あり、真っ黒でしょっぱい汁を飲み干すと体に毒だとか、汁がたっぷりなのでドクドクと飲んでしまうと、濃い汁に運動部の連中がハマって中毒になるとか云われていたが定かではない。とにかく値段が安くて汁がしょっぱかったのは覚えている。それで今回は、JR 飯田橋駅前の「肉そば」。駅前の歩道橋の上から江戸川橋方面を眺めると、歩道橋のたもとに看板が見える店。

ずいぶん昔から看板は見ていたけど、今回初来店。カウンター列だけの立ち食い。メニューは色々あるが、ここは名物らしい厚肉そば¥680 を注文。立ち食いらしからぬお値段だが、出てきた丼は迫力もの！煮込んだ豚バラ肉スライスが圧倒的存在感だ。汁は真っ黒、いかにも濃そう。ソバをすすると、いわゆる蒸しソバで立ち食いはお馴染みの湯通しすればすぐ出せるものだが、茹ですぎなのかかなり柔らかいぞ。汁は想像通り濃い。ただししょっぱいけどコクがあるのは肉のタレも入っているみたい。そして肉は厚さは2センチ近くもあり、ホロホロ崩れるくらいに甘辛く煮込んである。なかなかの食べでだ。

汁まで飲み干して、ハッとした。こりゃ体に毒だぞ、毒そばだ！気さくな店主が「お味はいかがでした？」と話しかけてきたので「旨かったけど白飯が欲しくなるね」と答えた。実際メシが二三杯食えるしょっぱさであった。



○あれ食ってたら寿命縮む度＝5ワカ

平成大道芸年表：1998年（平成10年）

政治・経済・事件	大衆芸能・大道芸関係
	1.6 相撲の家元・吉田司家の宝物、許永中（イトマン事件）より差し押さえ
	1.10 川上音二郎一座のAD1900吹込みのオッペケペー、復刻
	1.12 第4回全日本一輪車駅伝大会、1.11に荒川河川敷で（足立区一輪車連盟主催）
	1.17 ハイパーヨーヨーのニセモノ、大量に出回る
1.18 大蔵省OBと野村証券副社長、贈収賄で逮捕。ノーパンしゃぶしゃぶ事件。	1.18 すとりーとスケッチ 裏原宿、露店で自作写真を売る「かえるちゃん」
	1.23 土方舞踏の文法をCD-ROMで体系化 和栗由紀夫
	1.23 心に残る歌 1000万票（NHK衛星）第一位・美空ひばり「川の流れるように」
	1.24 劇団みんなわ座30周年記念、江戸の写し絵公演。1.27-28 俳優座劇場で
2.2 郵便番号が7ケタに	2.10 ちんどん通信社、musicvideo発売記念公演、東京・木馬亭とタイニエアリスで
2.7 第18回冬季オリンピック、長野で開催	2.14 田中泯、ブラジルより踊り手招き、アルト一原作「征服」公演へ
2.16 金融安定化2法案成立。日銀が実質ゼロ金利導入	2.28 一人芝居で国際交流 3.4から三百人劇場で
	3.5 ひと 都築響一さん、木村伊兵衛賞を受賞
	3.5 沈滞浅草に活 「お笑い21世紀」毎月公演
3.7 奈良・キトラ古墳、石室内に高度な宿星図を発見	3.7 水芸、ひさびさ華やかに、松旭斎正恵。3.28 国立演芸場で
3.13 1997年度の国内総生産成長率が23年ぶりにマイナス	3.13 ストリップ40年、浅草駒太夫、引退へ
	3.14 説経節・三代目若松若太夫襲名、披露公演を所沢市民センターで3.20に
	3.22 鹿児島県山川町、長崎鼻パークガーデンで「ネコとネズミの芸対決」公演
3.26 東京国際映画祭、不況で故簿縮小して、11月に開催	3.27 スーパー歌舞伎オグリ、再演。新橋演舞場で、4.5～5.23
4.1 改正外国為替法施行、日本版金融ビッグバン（金融大改革）が始動	4.2 障害者プロレス「ドッグレッグス」、笑い笑われ、障害の壁を超える
4.5 明石海峡大橋開通	4.3 福岡に「博多座」こけら落とし、菊五郎・鷹治郎・団十郎
	4.9 パリの道化師フランシスコ公演、ジアンジャンで。4.14-16
	4.11-12 とやま全日本チンドンコンクール（第44回）
	4.13 江戸っ子芸者・中村喜春、帰国して公演。4.18と4.25 木馬亭で
	4.15 東京ディズニーランド15周年。2億人に夢を売って
	4.17-18 第22回横浜・野毛大道芸
4.27 民政党、新党友愛、民主改革連合が、民主党に合流。二大政党時代へ	4.27 赤羽で「ばか祭り」15万人
	5.1 モガ・モボ展（1910-1935）神奈川県立近代美術館で5.17-6.28
	5.1 寺山修司没後15年、ゆかりの企画、各地で
	5.1 「寅さん」記念館、大繁盛。5月中旬に15万人突破か
	5.5 第13回全日本一輪車マラソン、長野市の千曲川沿いで
	5.9 批評 デビッド・カッパフィールド来日公演、マジックの歴史変えた
5.11 インド核実験（5.13も）	5.14 ひみつ アーティスト明和電機
	5.14-15 見世物小屋の文化誌 〈早稲田大、オール早稲田文化週間〉
	5.22 一人芝居 島田正吾92歳、新橋演舞場。5.29-30
	5.27 ちんどん菊乃家創業65周年記念公演。5.29 木馬亭で
5.28 パキスタン核実験（5.30も）	5.28 臨界副都心 やっと商業・娯楽施設着工、開業へ
	6.2 第14回〈東京の夏〉音楽祭 6.30-7.26 テーマはディアギレフ・バレエリュス
6.7 映画「南京1937」公開、刃物でスクリーン切り裂き。各地で妨害多発	6.6 一人芝居 浅利香津代「足の裏の神様」、俳優座劇場で6.9-18
	6.8 国立劇場民族芸能「唐子あそび」6.13-14
6.10 FIFAワールドカップ・フランス大会。日本代表はじめて出場	6.9 セゾン美術館 「ディアギレフのバレエリュス展」6.13-8.3
6.22 金融監督庁発足	6.16 連載「下町ちんどん物語」①～⑤
	6.17 ブランBコメディナイト（中野ブランBで、このころから毎月開催）
	6.20 原宿ホコ天 正式に廃止へ 7.5より
	7.16 音楽業界待望 韓国市場「解禁近し」
	7.16 ベルリン・キンダー・サーカス「TABORKA」青山円形劇場で7.30-8.4

	7.9-10 浅草木馬亭で大道芸フェスティバル。「没後 10 年、坂野比呂志のすべて」
7.25 和歌山市で夏まつりに提供されたカレーに毒物混入。4 人死亡	7.25 東京ものがたり 大道芸・チャックさん（高橋香）
7.30 第 1 次小淵恵三内閣成立	
	8.1 シアター X で第 3 回国際ダンスフェス。異分野とコラボ
	8.2 フジ・ロック・フェス in トウキョウ、満員で貧血。350 人に手当
	8.23 オリジナル結婚式、ピエロやゴリラのパフォーマンス。ハッピーゴリラなど
8.29 平均寿命世界一 女 83.82 歳、男 77.19 歳	8.28 フランスのエスプリ、舞台上。シルク・イシ (9.11-15)、演劇クレシオン (シアター X)、シルク・バロック (パブリックシアター、11.6-8)
8.31 北朝鮮のミサイル「テポドン」太平洋に着弾	8.31 河内音頭全国へ、夏のイベントとして定着
	9.2 「知ってるつもり?!」400 回記念 「寅さん」をテーマに
9.8 長寿番付 百歳以上 1 万人超す	
	9.11-15 シルク・イシ公演。赤坂・国際交流フォーラム
	9.21 「浅草奥山風景」10 年ぶりに 10.1~11.15 江戸時代の娯楽街再現
	9.21 国立劇場「日本の太鼓」公演に韓国江陵の「巫楽」と「農楽」9.22-23
	9.21 ブラン B コメディナイト
9.27 米大リーグ、マグワイア (カーディナルス) が 70 本塁打	
10.4 予測 2020 年の日本世界一に老人大国 60 歳以上が 3 割超す	10.5 ギリヤーク尼ヶ崎、新宿 55 広場で青空舞踊の会 10.10 に。記録映画上映会を上野の森美術館で、17 日に。
	10.5 中国福建省泉州市木偶劇団来日公演、杉並区と横浜
10.7 韓国の金大中大統領来日。未来志向の日韓共同宣言	10.5 第 3 回釜山国際映画祭 開放ひかえ、日本映画人気
	10.8 ロシアアバンギャルドの舞台芸術展、横浜美術館 12.6 まで
	10.11 詩のボクシング「ねじめ vs 谷川」 500 人魅了
10.12 「江戸天下祭図屏風」京都で発見	10.12 カナダの人形劇団テアトル・サンフィル来日公演、11 月に
	10.17-18 大須大道町人祭 (第 21 回)
10.20 首都移転、現地調査終え、首相に答申。不況で実現性しぼむ	10.19 紙芝居 600 枚、梅田佳声「猫三味線」公演、四谷コア石響で
	10.19 語り芸の浜田寸躬子、中山義秀作「寂光の人」を上演
10.23 日本長期信用銀行が国有化	10.24-25 所沢ミュージズで大道芸大会「芸人王国」開催
10.23 予測 2020 年の日本 高齢化進み、一人暮らしも 3 割に	10.25 光州に響いた日本の歌声 韓国、日本大衆文化の開放に向けて
	10.26 私空間 川添裕①とんだ霊宝②いぶし銀③川と見世物④ウェブと寄席
	10.31 フランス馬術華麗に パリ国立馬術学校初の日本公演。馬事公苑室内馬場
11.1 中央公論社、読売傘下に。負債に勝てず	10.31-11.3 第 7 回大道芸ワールドカップ in 静岡
	11.6 寺山修司の「市街劇」、11.1 に青森で復活
	11.6-8 シルク・バロック「ガンディード」。パブリックシアター
	11.7-8 三茶 de 大道芸
	11.11 鎌倉シネマワールド、12.16 に閉鎖 1995 年開業
	11.12 英仏、日本に文化の売り込み 「英国祭 UK98」 「日本におけるフランス年」
	11.17 ブラン B コメディナイト
11.25 中国国家主席として初めて、江沢民が来日	11.25 テーマパーク、東京湾内、新たに 5 か所。ディズニー・シー、ロッテ、レゴランド、手塚治虫ワールド、ファンタジーワールド
	11.28 シェイクスピアの世界①道化の目②時代の子③歴史の中で④人間像
12.1 特定非営利活動促進法 (NPO 法) 施行	
12.12 日本債券信用銀行、一時国有化	12.4 全国座長大会、浅草公会堂で 12.21 から 3 日間
	12.4 古館伊知郎、シェイクスピアを素材に語り
	12.9 ハイパー・ヨーヨー事故 本体ばらばら、顔面直撃
	12.12 ブラン B コメディナイト特別編
	12.31 東京ディズニーランド、入場者数世界一 1670 万人。昨年より 4%減
※この年のトピック	
ヒット商品 「iMac」 「Windows98」 「キリン淡麗 (生)」 「アサヒスーパードライ スタイニー」	
今年の漢字 「毒」	

<p>文化功労者に、森光子、水上勉、遠山一行、三宅一生、白川静 紫綬褒章に、赤塚不二夫、久世光彦、白石かずこ、野村四郎、高畑勲、 平幹二郎、香川京子</p>	
<p>流行語 「ハマの大魔神」「だっちゅへの」「凡人・軍人・変人」</p>	
<p>野球 横浜ベイスターズ、38年ぶり二度目の優勝</p>	
<p>書籍『新・人間革命1・2・3』（池田大作著、聖教新聞社）、『幸福の革命』（大川隆法著、幸福の科学出版）、『ビストロスマップ KANTAN レシピ』（ビストロスマップ政策委員会編、フジテレビ出版）、『大河の一滴』（五木寛之著、幻冬舎）、『ダディ』（郷ひろみ著、幻冬舎）、『絶対音感』（最相葉月著、小学館） 映画「タイタニック」（ジェームズ・キャメロン監督）、「踊る大捜査線 THE MOVIE」（本広克行監督）、「ディーブ・インパクト」（ジェームズ・ホーナー監督）、「劇場版ポケットモンスター ミュウツーの逆襲」（湯山邦彦監督） 音楽「Time goes by」（Every Little Thing）、「夜空ノムコウ」（SMAP）、「長い間」（Kiroro）、「my graduation」（SPEED）</p>	<p>書籍『新版 香具師口上集』（室町京之介著、創拓社）、『江戸の大道芸人〜大衆芸能の源流』（中尾健次著、三一書房）、雑誌『上方芸能』128号・特集「大道芸と門付け芸の今」、雑誌『中洲通信』6月号・「見世物絵看板特集」、雑誌『散歩の達人』6月号「特集・大道芸にほえろ」、『往生際の達人』（桑原稲敏著、新潮社）、『大江戸視覚革命』（タイモン・スクリーチ著、作品社）、『旅芸人のフォークロア』（川元祥一著、農文協）、『イラスト事典 大道芸大全』（馬越ふみあき著、同文書院）、『知られざる芸能史 女義太夫』（水野悠子著、中公新書）、『蚤のサーカス』（藤田雅矢著、新潮社）、『15歳 天井桟敷物語』（高橋咲著、河出書房新社）、『芸人失格』（松野大介著、幻冬舎）、『ものがたり・芸能と社会』（小沢昭一著、白水社）、 CD 「蘇るオッペケペー〜1900年パリ万博の川上一座」（東芝EMI）、「今を生きる琵琶盲僧の世界〜永田法順」、「仏の里の琵琶盲僧〜祈りに生きた高木清源」（企画・川野楠己、茶園製作所）、「ちんどん通信社・パレード」、「（ミュージックビデオ）ちんどん通信社・アサクサ」（東西屋）、「日本文化の伏流 説経節集」上下巻.8枚組（法政大学多摩地域社会研究センター）、「恋するバナちゃん」（メタ・カンパニー）、</p>
<p>物故 1/6 岩波書店前社長・安江良介 (62), 1/9 ノーベル科学賞・福井謙一 (79), 2/11 芸能史研究・林辰辰三郎 (83), 3/29 野口体操・野口三千三 (83), 4/15 歌舞伎研究・郡司正勝 (84), 4/24 学生運動の草分け・安藤仁兵衛 (70), 5/4 女優・丹下キヨ子 (78), 5/9 近代文学研究・中村幸彦 (86), 5/14 エンターテイナー・フランク・シナトラ (82), 5/19 俳優・高田浩吉 (86), 6/10 作曲家・吉田正 (77), 6/12 演出家・渡辺浩子 (62), 6/25 前衛芸術家・高松次郎 (62), 8/22 元阪神エース・村山実 (61), 8/26 現代詩人・田村隆一 (75), 9/5 小説家・堀田善衛 (80), 9/6 映画監督・黒澤明 (88), 9/21 短距離ランナー・ジョイナー (38), 1/12 プロレタリア作家・佐多稲子 (94), 11/5 俳優・河内桃子 (66), 11/11 映画解説・淀川長治 (89), 11/20 俳優・太宰久雄 (74), 11/22 演出家・松浦竹男 (72), 11/30 ホテルニュージャパン・横井英樹 (85), 12/1 俳優・中山昭二 (70), 12/26 随筆家・白洲正子 (88), 12/30 映画監督・木下恵介 (86),</p>	<p>物故 1/11 劇作家・矢代静一 (70), 1/12 浪曲研究家・芝清之 (74), 1/20 松竹新喜劇・曾我廼家五郎八 (95), 1/20 プロレスラー・ボボ・ブラジル (74), 1/27 放送作家・景山民夫 (50), 1/28 漫画家・石ノ森章太郎 (60), 2/5 津軽三味線・高橋竹山 (87), 2/5 地唄舞・武原はん (95), 3/13 紙芝居作家・加太こうじ (80), 4/23 日本舞踊・吾妻徳穂 (89), 4/23 コメディアン・大泉滉 (73), 5/2 X-JAPAN・H I D E (33), 5/24 山谷の語り部・林光一 (79), 5/28 元国際プロモーター・神彰 (75), 6/7 本牧亭・石井英子 (87), 6/8 ジャズ評論家・油井正一 (79), 7/1 元プロレスラー・豊登 (71), 7/2 寄席紙切り・林家正楽 (62), 7/25 佐渡文弥人形・浜田守太郎 (98), 9/6 玉乗り芸人・江川マストン (88), 11/5 浪曲ものまね・前田勝之助 ( ), 11/12 浪曲師・三門博 (91), 11/13 びんからトリオ・並木ひろし (56),</p>

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

☆その 352a

平成大道芸年表（10）1998年

上島敏昭

◆23年ぶりのマイナス成長

日本長期信用銀行と日本債券信用銀行が破綻し国有化されるなど、日本経済は1980年代には考えられないほど悪化し、23年ぶりのマイナス成長となった。戦後最大の不況といわれた。金融ビッグバンなどという言葉もあったが、どんな意味なのか私は知らない。しかし、現在までずっと景気は浮揚していない。

和歌山で夏休みの地域祭で作ったカレーに毒が入れられた事件が連日ワイドショーをにぎわした。結局、犯人はどうなったのか？

2月の長野・冬季オリンピック、

6月のフランスでのサッカーW杯に日本が初出場、米大リーグでマグワイアが70本塁打が話題となった。

◆映画「見世物小屋」完成

5月14、15の両日、ドキュメント映画「見世物小屋」（北村皆雄監督、ヴィジュアルフォークロア制作）の上映会とシンポジウムが、早稲田大学大隈講堂で行われた。映画の完成記念で、主催は早稲田大学の演劇専修、協力はどらま館。1995年に亡くなった人間ポンプ・安田里美さんの秩父夜祭での掛け小屋公演のドキュメントで、シンポジウムには、安田春子さん、大野裕子さん、西村太吉さんらが出席して歴史的な催しとなった。

この年、中野の小ホール・プランBを会場に、「プランB コメディナイト」と題した連続公演がはじまった。出演者は大道芸大会の常連メンバーだが、

毎月、それぞれのパフォーマーが大道芸とは一線を画する作品をかけるというのが新鮮だった。

ちんどん界では、2月に大阪の東西屋（ちんどん通信）がミュージックビデオとCDを発売。東京の木馬亭とタイニエアリスで記念公演をおこなって話題となった。5月には菊乃家さんが創業65年祭と題して公演し、それが呼び水となって「下町ちんどん物語」という連載が6月、朝日新聞に掲載された。

10月、街頭紙芝居の旧作「猫三味線」（約600枚）を、梅田佳声さんが一人で語る試みをおこなった。独演会という街頭紙芝居の表現方法を確立した。

フランス発の新感覚サーカスが「ヌーヴォーシルク」と称されて話題になっていたが、その代表格「シルク・バロック」とパフォーマーがたった一人の「シルク・イシ」が来日公演した。

平成大道芸年表:1999年(平成11年)

政治・経済・事件	大衆芸能・大道芸関係
1.4 日韓文化新時代・連載 1~10	1.3 日本橋ホコ天(銀座1丁目交差点~神田須田町交差点)廃止に
1.7 自衛隊、国連平和維持軍(PKF)に参加決定	1.16 大道芸&大衆芸能祭(烏山区民センター 日本大道芸・大道芸の会と仲間たち)
1.15 ハッピーマンデー導入で、1.15=成人の日は、この日が最後	
1.21 ダイエー、中内社長、引退表明/1.26 戦後の夢物語の終わり	1.21 プランBコメディナイト
	1.22 月刊浪曲200号記念。浪曲のルーツ、デロレン祭文と説経節
	1.22 好きなタレント 男・明石家さんま 女・和田アキ子
1.29 景気対策の地域振興券交付、開始	1.26 不況に強い映画、昨年より8.8%増。入場者1億5千万人
	2.1 パリの道化師フランシスコ、ジアンジアンで公演 2.7-8
	2.5 「がまの油」不況に泣く 筑波山名物「陣中膏」発売中止
	2.8、13-14 ちんどん通信社東京横断公演(新宿ロフトプラスワンほか)
	2.18 プランBコメディナイト
	2.20 東京ディズニーランド、修学旅行先のトップに、清水寺を抜く
3.3 日銀、短期金融市場で年初来最大の資金供給。実質金利ゼロ	3.5 結城座、雪斎追悼公演「文七元結」と「綱鮎」国立劇場 3.12-13
	3.17 「だんご3兄弟」キャラクター発売、バンダイ、ストップ高
	3.18 プランBコメディナイト
3.20 地域振興券、店により格差	3.19 フラフープ、プーム再来か。99おもちゃショーに出品
3.24 NATO軍、コソボ紛争に介入、空爆開始	3.22 ハイパーヨーヨー、全国でチャンピオン大会。
3.24 長野五輪招致疑惑、JOC調査終了。解明ほど遠く/3.30 ルポ五輪招致	3.24 美術 「明和電機 百貨展 99」小田急百貨店で
4.1 整理回収機構設立	4.2 映像に見るアメリカの見世物小屋(四谷区民センター、日本映像民族学の会ほか)
4.5 改正男女雇用機会均等法施行	4.2 韓国珍島の民族芸能「珍島シナウィ」公演 猿楽町スペースワイ
	4.10-11
	4.10-11 とやま全日本チンドンコンクール(第45回)
4.12 知事選挙、東京は石原慎太郎、大阪は横山ノック	4.12 イッセー尾形、ジアンジアンで公演
4.24 批評の広場 神戸児童殺傷事件両親の手記「少年A~この子を生んで」	4.24-25 第24回横浜・野毛大道芸ウィーク
	4.24-25 プラコメ番外編パート3
4.30 東京証券取引所、全面コンピューター化	4.30 寺山修司をしのぶ公演、かずかず ジアンジアンや多摩で
5.7 情報公開法成立	5.7 シアター・オリックス公演中、静岡・グランシップなど
5.11 祭に登場の牛、飼育困難	5.13 桜枝岐歌舞伎、公演中にボヤ騒ぎ
	5.15 日本民族舞踊団「宇(あざ)の芸能」新宿・日本文化センターで 5.19と6.15
	5.20 プランBコメディナイト
5.22 トキ、人工ふ化に成功	5.22 一人芝居・島田正吾、「王将」辰巳の当たり役 新橋演舞場 5.29-30
	5.22 林家正雀、車人形とコラボ。「塩原多助」 5.11-20
5.24 周辺事態措置法、日米新ガイドライン法、成立	5.23-25 国際サーカス村プロジェクト「五人囃子」公演(シアターX)
	5.29-30 見世物・世紀末大放談会(新宿西向天神社)
	6.3 第15回(東京の夏)音楽祭 6.29-7.27 テーマ「華・業・芸~演奏とは何か」
	6.4 ニッポン現場紀行 水木しげるさんと行く「見世物学会」新宿・西向天神社
	6.5 国立劇場民俗芸能「与論島の十五夜踊り」 6.12-13
	6.7 韓国グループ「ブリ」来日公演、パブリックシアター、5.27
6.23 男女共同参画社会基本法公布	6.7 黒森神楽、「劇」小劇場で 6.25から3日間
	6.7 ベルギーの人形劇団「シアタータブトー」かめりありリオホール 6.10から
	6.9 「反省ザル」パパに、伊東市・次郎おさるランド
	6.17 プランBコメディナイト
	6.25 トーキョー1999 紙芝居・森下貞義さん(83)
	6.25 柴又駅前に「寅さんの像」完成
	6.25 一人芝居を三本立て 渡辺哲、有蘭雪芳紀、西牟田恵。新宿トップス

7.1 ノストラダムスの大予言、1999年7の月、人類滅亡？	7.3 伝える100歳の瞽女歌 小林ハルから萱森直子(41)
	7.4 「浅草雑芸団」旗揚げ 7.9-10 木馬亭
7.29 改正国会法、成立。憲法改正を視野にいたした憲法調査会を設置	7.15 プランBコメディナイト
8.1 「2000年問題」コンピュータ誤作動か？	8.5 ユーミン・スペクタクル・シャングリラ、7.31 大阪城ホール
8.9 国旗・国家法成立	8.5 フジ・ロック・フェス 7.31から3日間 青空の下、興奮のステージ
	8.6 いっこく堂、ライブ。博品館 8.7-8
	8.7-15 江戸こま・からくりおもちゃ展(深川江戸資料館)
	8.7-16 大阪・海遊館パフォーマンスフェス
	8.12 幻の芸能江戸写し絵・平成玉川文楽襲名興行(みんわ座) 国立小劇場
	8.14 ひと 笑福亭鶴笑 モントリオール国際コメディフェスに招待
8.20 第一勧業、富士、日本興行の各銀行が、2002年春に統合と発表	8.20 国立劇場「新しい伝統芸能～笑いの様式」にわか・落語・浪曲
	8.20 南谷朝子一人芝居 フォワシイ作「チェロを弾く女」
8.21 批評の広場 ワイドショーにぎわす「サッチー報道」	8.21 プランBコメディナイト&マルセ太郎独演会(白州アートキャンプ)
	8.25 国立能楽堂 黒川能 8.29
8.31 国立大学の独立法人化 既定方針として進行中	8.26 芸術見本市 東京国際フォーラム 8.31-9.1
	9.1 「詩のボクシング」福島泰樹 vs 楠かつのり 本郷パリオホール 8.23
9.7 金嬉老服役囚(70)、仮出所して韓国へ	9.3 スーパー銭湯 オープン相次ぐ 演芸ライブも
9.7 100歳以上、5年で倍増 全国で1万1346人	9.3 風の盆、新内流しとコラボ 三越劇場 9.21
9.8 池袋・東急ハンズ前で通り魔、8人襲撃1人死亡	9.7 葛飾区の昔話を紙芝居に
9.11 郷ひろみ、8.30に渋谷のゲリラライブで事務所搜索	9.14 ミラノ・ピッコロ座来日公演「二人の主人を一度に持つと」10.19-31
9.15 首都移転、石原都知事の登場で「？」に	9.14-18 大阪城天守閣改修完成記念公演(伊勢大神楽、水戸大神楽、三河万歳)
	9.16 プランBコメディナイト
	9.17 国本武春ワールド大博覧会・イヨ一名調子(江戸東京博物館ホール)
9.18 石原知事、重度障害者病院で「ああいう人たちに人格あるのかね」	9.17 国立劇場「日本の太鼓」公演初の女性特集 金沢のお座敷太鼓、韓国の僧舞
9.30 下関駅に通り魔、3人死亡	9.28 ハンガーマン・リサイタル(プランB)
9.30 東海村の核燃料会社JCOで臨界事故。2人死亡、667人被曝。31万人避難	9.30 「詩のボクシング」女性対決 白石かずこ vs 平田俊子 10.10 本郷パリオホール
	10.1 トーキョー1999 火噴き男 新宿路上 松原真琴(23)
	10.1 語り芸浜田寸躬子・ことばのしらべ屋星「津の国人」10.7 紀尾井ホール
	10.1-3 ヌーヴォーシルク・クザン(赤坂国際交流フォーラム)
10.5 東海道・山陽新幹線、開業35年、コンクリート落下など事故・トラブル続く	10.4 戸越の商店街、おかみさんカップレバレード
10.5 第二次小淵改造内閣(自民・自由・公明連立)	10.6 影絵詩劇「水のおんな」長谷男草子をワヤンの手法で 10.9 サニーホール
	10.8-11 ドキュメント『見世物小屋』上映&シンポジウム(渋谷アップリンク)
	10.10 ギリヤーク尼ヶ崎、新宿三井ビル55ひろばで青空舞踊の会
10.14 住友、さくら、両銀行が合併し、三井住友銀行発足	10.13 消された職名 幫間 桜川七好さん
	10.15 消された職名 バナナの叩き売り 若林正さん
	10.15 声とアクロバットの融合「オペラ・デュ・サーカス」10.17に浅草公会堂で
	10.16-17 大須大道町人祭(第22回)
	10.16-17 所沢ミュージズで大道芸大会「芸人王国」開催
10.19 日産、5工場閉鎖へ	10.18 野外伝承遊び国際大会 10.31 代々木陸上競技場で
	10.21 プランBコメディナイト
	10.22 音楽と笑いをミックスしたグループ「アルス・ヴィタリス」来日 10.30-31に
	10.22 江東子ども劇場25年記念「フランスから空中芸・サーカスがやってきた」
10.30 宮城、上高森遺跡で、60万年前の古層より石器	10.28 大船撮影所、鎌倉女子大に売却へ
	10.29-31 ジャグリングフェスティバル(日本ジャグリング協会)府中青年の家

	10.30-31 三茶 de 大道芸
	11.3-7 第8回大道芸ワールドカップ in 静岡
11.3 社説 文化芸術支援 景気低迷の中、メセナは好調	11.3 紙芝居の世界 (ゲスト・塩崎源一郎 主催・遊びの玉手箱) 平野・全興寺
	11.7 見世物学会設立総会 (中央大学駿河台記念館)
	11.9 越境する「美術」と「芸能」 テレビ「誰でもピカソ」人気
	11.11 TV東京「TVチャンピオン」全日本ジャグラー王選手権 優勝はMr.アパッチ
11.19 ヨシモト不況知らず、売上・経常利益とも過去最高、売上128億、利益13億	11.15 ポケモン映画「ミュウツーの逆襲」全米の週間興行、1位
	11.18 プランBコメディナイト
11.25 新宿・思い出横丁、火事。28軒焼	11.29 ひと 大道芸ワールドカップで優勝 サンキュー手塚
	11.29 銀座セゾン劇場、12年の歴史に幕
12.1 文京区音羽、有名幼稚園・幼女殺害事件 (11.22事件発生)	12.2 迫る放送ビッグバン 衛星・ケーブル・地上デジタル
12.2 世界遺産に、日光の社寺	12.7 池袋西口公園「青空床屋」、店主も客もホームレス
12.18 横山ノック大阪知事、わいせつ訴訟敗訴。辞職に／12.28 人生の有為転変	12.16 プランBコメディナイト
	12.25 浅草フランス座 衣替えして「浅草東洋館演芸場」開場
	12.25 マルセ太郎、立体講談 プランBとジアンジャンで
※この年のトピック	
「平成の大合併」はじまる 話題 ワイドショーのサッチー報道過熱 ヒット商品 「NTTドコモiモード」「ユニクロ フリース」「だんご3兄弟」「ペットロボットAIBO」 今年の漢字「末」	
勲三等瑞宝章に、中村芝翫 勲四等旭日小綬章に、植木等、舛田利夫、田村高広、小島功、佐藤勝、高田一郎、間宮芳生 紫綬褒章に、米山俊直、一柳慧、宇野亜喜良、栗田勇、芝佑靖、白川議員、斎明寺以玖子、中島丈博、東陽一、阿久悠、田中邦衛、今江祥智、茂山千之丞、高田賢三 草笛光子、島倉千代子、山崎正和、藤田洋、宝井馬琴、三木卓 芸術選奨文部大臣賞に、北野武	
流行語 「リベンジ」「ブッチホン」「雑草魂」	
野球 ダイエーホークス、福岡移転後、初優勝	
書籍『五体不満足』(乙武洋匡著、講談社)、『日本語練習帳』(大野晋著、岩波新書)、『本当は恐ろしいグリム童話』(桐生操著、ベストセラーズ)、『鉄道員(ぼっぼや)』(浅田次郎著、集英社)、『繁栄の法』(大川隆法著、幸福の科学出版)、『新・人間革命4-6』(池田大作著、聖教新聞社) 映画「アルマゲドン」(マイケル・ベイ監督)、「スター・ウォーズ エピソードI」(ジョージ・ルーカス監督)、「マトリックス」(アンディ・ウォシヤウスキー監督)、「劇場版ポケットモンスター幻のポケモンルギア爆誕」(湯山邦彦監督)、「リング2/死国」(中田秀夫監督)、「鉄道員(ぼっぼや)」(降旗康男監督) 音楽「Automatic」「First Love」(宇多田ヒカル)、「A・R・A・S H I」(嵐)、「だんご3兄弟」(速水けんたろう・茂森あゆみ)、「LOVEマシーン」(モーニング娘。)	書籍『伊勢大神楽～悠久の獅子』(吉野晴朗・撮影、東方出版)、『黒いピエロ』(ロジェ・グルニエ著、山田稔訳、みすず書房)、『のり平のパーッと行きましょう』(三木のり平著、小田豊二閣書き、小学館)、『海を渡った幕末の曲芸団』(宮永孝著、中公新書)、『自然と文化 59号(特集・見世物)』(日本ナショナルトラスト)、『演芸亭玉介・幫間の遺言』(小田豊二著、集英社文庫)、雑誌『骰子(ダイス)』(カルロス山崎の見世物聞き書き連載、アップリンク発行)、『美術という見世物』(木下直之著、ちくま学芸文庫)、『世紀末倶楽部 4』(コアマガジン世紀末倶楽部)、『説経節を読む』(水上勉著、新潮社)、『ヤマガラの芸-文化史と行動学の視点から』(小山幸子著、法政大学出版局)、『見世物小屋の文化誌』(鶴飼正樹・北村皆雄・上島敏昭編、新宿書房)、『芸能の文明開化-明治国家と芸能近代化』(倉田善弘著、平凡社選書)、『伊勢大神楽探訪』(鈴木武司著、同刊) CD ビデオ「昭和名人芸大全」全6巻(ポニーキャニオン)、ドキュメント『日本の放浪芸』シリーズCD化
物故 1/9 俳優・芦田伸介(81)、1/24 俳優・夏川静江(89)、2/9 べ平連・哲学者・久野収(88)、2/15 俳優・山岡久乃(72)、3/7 映画監督・スタンリー・キューブリック(70)、3/6 写真家・浜谷浩(83)、3/23 俳優・水島道太郎(87)、3/25 元宝塚・上月晃(58)、3/27 アイドル・沖田浩之(36)、4/1 俳優・坂東三津五郎(69)、4/6 シンガーソングライター・西岡恭蔵(50)、3/31 江戸文化研究・林美一(77)、5/6 日本	物故 1/2 清元(人間国宝)・清元志寿太夫(100)、1/7 漫才Wけんじ・東けんじ(75)、1/13 漫才師・若井小づえ(51)、1/16 タレント・大屋政子(78)、1/19 ラジオパーソナリティ・土居まさる(58)、1/25 俳優・三木のり平(74)、1/28 人間大砲・マリオ・ザッキーニ(87)、1/31 プロレスラー・ジャイアント馬場(61)、3/4 声のスタイルブック・桜井長一郎(81)、3/30 末広亭席亭・杉田恭子(80)、4/13 松竹新喜劇・曾我廻家明蝶(90)、

画家・東山魁夷 (90)、6/14 漫画家・谷岡ヤスジ (56)、6/24 元ピッチャー・別所毅彦 (76)、7/21 評論家・江藤淳 (66)、7/29 小説家・辻邦生 (73)、8/2 作家・後藤明生 (67)、8/7 映画カメラマン・宮川一夫 (91)、9/16 俳優・市川右太衛門 (92)、9/21 大衆文学研究・尾崎秀樹 (70)、9/22 歌手・淡谷のり子 (92)、10/3 ソニー創業・盛田昭夫 (78)、10/12 作家・三浦綾子 (77)、10/20 早稲田大名譽教授・興津要 (75)、11/1 俳優・千秋実 (82)、11/3 サントリー会長・佐治敬三 (80)、11/9 演劇評論家・尾崎宏次 (85)、12/5 映画音楽・佐藤勝 (71)、12/24 俳優・菅原謙次 (73)、12/31 歌手・渡辺はま子 (89)、

4/19 上方落語・桂枝雀 (59)、5/13 チンドン屋・滝の家あやめ (70)、5/20 コメディアン・由利徹 (78)、6/5 神戸の三味線流し・西口菊丸 (89)、8/9 元ビューティペア・ジャッキー佐藤 (41)、8/22 北野武の母・北野さき (95)、10/9 沖縄民謡・嘉手苺林昌 (79)、10/27 説経節・二代若松武蔵大掾 (80)、

## 大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

### ☆その 352b

## 平成大道芸年表 (11) 1999 年

上島敏昭

### ◆国防問題と東海村・臨界事故

1 月に自衛隊の国連平和維持軍 (PKF) 参加が決定し、昨年から繰り返された北朝鮮のテポドン発射や不審船の領海侵犯など事件を背景に、5 月、周辺事態措置法などが成立。これらの憲法九条にかかわる問題に対し、7 月には国会法が改正され、改憲を視野にいたした憲法調査会が設置される。日本の国防にかかわる問題がつぎつぎと変更された。

また 9 月には東海村の原子力発電所の関連会社 JCO で、臨界事故が発生し、2 名死亡、667 人が被曝、31 万人が避難する事態となった。

4 月、知事選挙が行われ、東京は石原慎太郎が初当選、大阪は横山ノックが再選された。しかしノック知事は選挙期間中のセクハラ行為により 12 月に辞職した。また石原知事は、首都移転を拒否、障害者病院では「ああいう人たちに人格があるのかね」と発言するなど、「人格」「品性」がおおいに批判を浴びたが、石原知事はこの後も同様の発言、行動を繰り返した。

景気対策として「地域振興券」が配布されたが、景気浮揚にはほど遠く、また、前年からの金融再編の流れをうけて、銀行の統合が進行した。

### ◆2つの通り魔、音羽少女殺害事件

前年行われた長野冬季オリンピックの招致運動に関する金銭疑惑が浮上し、2 月、内部調査が行われ、きわめて不適切な金銭授受が発覚した。更に資料を焼却、証拠隠滅も発覚したが、最終的には「問題なし」とされ何の改善もなされなかった。9 月には東京・池袋の東急ハンズ前で通り魔事件が発生し、8 人が襲撃され 1 人が死亡した。さらにこの事件を反復するように、JR 下関駅でも通り魔事件が発

生し、3 人もの死亡者を出した。11 月には、文京区の高級住宅地の有名幼稚園で園児殺害事件が発生。ママ友同士の複雑な感情、感受性の常軌を逸した発露に、社会は驚いた。

### ◆見世物学会、国際サーカス村が始動

そんな不景気な時代でも、吉本興行は増収・増益。また東京ディズニーランドもますます好調。11 月の朝日新聞には、不景気に関わらず企業の芸術支援は盛んとの記事がある。芸術・芸能に対する企業などの姿勢は、バブルの前と後では大きく変わっていたようだ。それを反映したのが映画館だろうか。旧来の 1000 人以上収容の映画館や名画座は閉鎖したが、大型ショッピングモール内や新形態のシネコンが全国に増えていった。

大道芸関連では、数年前から断続的に活動をはじめていた、沢入国際サーカス村 (群馬県勢多郡東村《現みどり市》) が、本格的に始動し、女性 5 人のクラウングループ「五人囃子」を結成、ロシアのクラウン・クリューコフの指導によって、5 月に東京・両国シアター X で発表会をもった。以後、日本各地ばかりかロシアまで巡演し、2000 年 12 月まで活動する。

同じく 5 月、前年から企画が進行していた「見世物学会」が始動。新宿の西向天神社に仮設テント小屋を建てて「見世物・世紀末大放談」という催しをおこなった。朝日新聞やNHKの

ニュースでも報道された。

「見世物学会」は 11 月、中央大学で総会を開いて正式に発会する。山口昌男、種村季弘、小沢昭一などの学者 & 文化人と見世物業者 (西村太吉・坂入尚文・安田春子・大野裕子) が名を連ね、「見世物をこよなく愛し研究する人たちが集い、『見世物』の魅力を確認し、その周辺の日本の文化とのつながりを探るのを目的としている。また、それに先立つ 10 月、前年に早稲田大でおこなったシンポジウムの記録なども収録した書籍『見世物小屋の文化誌』 (鶴飼正樹・上島敏昭・北村皆雄



共編) も刊行され、同時にドキュメント映画「見世物小屋」も一般公開 (渋谷・アップリンク) され、その記念イベントとしてゲストトークやシンポジウムも行われて賑わった。

ちんどん界では前年につづき、2 月、大阪の東西屋 (ちんどん通信) が東京公演を敢行。新宿のロフトプラスワンのトークイベントには、見世物業者の西村太吉氏もゲスト出演した。

11 月には、テレビ東京の人気番組「テレビチャンピオン」が「ジャグラー王選手権」を企画し、関東・関西の人気ジャグラーが出演して技を競い合った。優勝は Mr. アパッチ。それ以外に、青空曲芸シアター小出直樹、kaja、石川健三郎、ミス. サリバンが出演した。ジャグリングの普及に影響を与えた。

